

第2回技術委員会（準備書第2回審議）での委員意見と事業者等の見解要旨

	区分	委員名	発言要旨	事業者等の見解要旨
1	全般	片谷	<ul style="list-style-type: none"> ・評価書については我々が審査する機会がないため、記載の変更や数値データの追加等は可能な限り準備書を審査する間にお示しいただきたい。よりよい、より精度の高いアセスメントになるよう事業者としての対応をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見については、次の技術委員会できちんと説明をさせていただきます。
2	全般	亀山	<ul style="list-style-type: none"> ・この場で議論、質疑があるものについてはこの場で対応いただき、評価書はその結果が評価整理されたものにしていただきたい。 ・以前の事例で、評価書の前段階で個別に回答をいただいたこともあったので、それも含めて評価書前に終わりと言える状態にしていただくことがベストかと思う。 	
3	全般	片谷	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として少し説明等の丁寧さに欠けるという点を感じており、よりレベルの高いアセスメントという観点からすれば、考慮できることはなるべく考慮するという姿勢は持っていただく必要がある。 ・原発事故等の想定外のことについては影響評価の対象ではないことは事実ではあるが、先に事故対策をきちんとしていることをしっかり説明し、なお環境影響評価の対象には含まれていない項目とさせていただくことはよいが、住民の方がご指摘、懸念をされていることについては、前向きな回答をしていただきたい。 	<p>【事後回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者の見解につきましては、できる限り、ご意見の趣旨に沿った形で回答をしておりますが、今回の環境影響評価に直接関係しないと思われるものについては、見解を差し控えさせていただきました。また、事故対策等については、住民の皆様にご説明をしております。

	区分	委員名	発言要旨	事業者等の見解要旨
4	全般	佐藤	<p>・当準備書に対しては63個の意見が出ており、ずいぶん多いように感じるが、こういった案件では一般的にこのくらいの数はあるのか。</p>	<p>【事後回答】</p> <p>・今回は5名の方からいただいた意見を準備書の項目に分け、63項目とさせていただきますが内容につきましては重複したものがございます。</p> <p>(・長くやらせていただいている経験において、長野県内もしくは他県の事例で、1,000通以上の意見書が提出された案件もありました。(片谷委員))</p>
5	全般	塩田	<p>・環境技術が発達してきている中、アセスメントの中身そのものが発展しているように思えない。</p> <p>先進的な技術を調べ、周辺住民に対し安全安心を提供するような方策を考えていただきたい。</p>	<p>(・長野県環境影響評価技術指針及びマニュアルについては、今後必要に応じて改定していく姿勢である。</p> <p>事業者に過大な負荷を掛けることになりかねないので非常に慎重に、また同時に必要な知見の上、時代にあったような長野県として先進を行くと言われるような指針を作っていきたいと思っております。(事務局 清水))</p> <p>(・国と県の制度は相互に刺激しあい、経験も蓄積されてきているため、いずれはマニュアルを改訂しなければとは思っております。(亀山委員長))</p>
6	4-1 大気質	片谷	<p>・準備書に対する意見の中で、有効数字に関する疑義があり、それに対する回答をしていますが、この中で有効数字についての解釈を評価書に記載していただきたい。また、一酸化窒素については、健康への影響がより大きい二酸化窒素で代用して調査を行ったことについても評価書に記載していただきたい。</p>	<p>・ご指摘の事項につきましては、評価書に記載します。</p>
7	4-3 振動	塩田	<p>・振動の予測について、予定地付近の地盤は同じ粘土質として予測に係る同心円を記載しているが、犀川の部分は粘土質と腐葉土質に分かれるのでは。</p> <p>市街地は実線でよいと思うが、河川部については点線に修正した方がよいのでは。</p>	<p>・犀川堤防の以南については、ご指摘のとおり修正をさせていただきます。</p> <p>(別添 「資料2の15番関連」参照)</p>

	区分	委員名	発言要旨	事業者等の見解要旨
8	4-3 振動	塩田	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの経験の中で、予測計算したものについて振動測定器等で検証したことはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・別の事例で、予測値と実際の値の比較を行ったことはありません。予測値よりも測定値の方が小さくなる傾向にあります。
9	4-7 水象	富樫	<ul style="list-style-type: none"> ・準備書475ページの地下水の利用状況については、使用者の数、予定地との距離等基本的なデータを示していただきたい。 ・計画施設の建設時における地下水の揚水で、どの程度の揚水が行われ、どの様な影響があるのかについては、詳細設計を待たずに、現段階の計画で予測をしていただく方が良いと思う。準備書の内容について見ているので、評価書の地点ではなく、できれば現段階の計画で次回に示していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸の利用状況の基本的なデータは、次回の技術委員会でお示しさせていただきます。 (別添 「資料2の21番関連」 参照) ・計画施設の建設に伴う掘削工事の影響については、次回の技術委員会でお示しさせていただきます。 (別添 「資料2の21番関連」 参照)
10	4-13 景観	亀山	<ul style="list-style-type: none"> ・準備書638ページからのフォトモンタージュについては、煙突や建物の形状などの色彩をきちんと示していただきたい。もし決まっていないようなら、そのことを書いていただくことが大事である。 ・一部の景観図で、輪郭がはっきりしないものがあるので、修正すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・煙突等施設の形状・色彩については、詳細設計が固まっておらず、特に色については付近の景観を踏まえ現状になじむ形を考えており、それを踏まえて無地の白とさせていただきました。なお、そのことについて、評価書に記載します。 ・輪郭がはっきりしない景観図については、次回の技術委員会でお示しさせていただきます。 (別添 「資料2の27番関連」 参照)